

平成28年度 事業報告

社会福祉法人 善 興 会

平成28年度は、善興会の長期計画の一つである善興園、第二善興園の統合施設「花の王善興園」の完成を迎えることができました。

今後は、北九州市八幡東、西区の特別養護老人ホーム154床と120床の二施設を柱に、地域に密着した運営を継続していきます。

現在、引越後の両施設は、一級建築士の榑良評議員を中心とした委員会により、什器備品のリユース選定に取り組んでおり、善興園園舎は法人本部の拠点とした上で、空き部屋は、生活困窮等の理由から住居の確保を必要とする方への短期生活の場としての利用、第二善興園園舎はリユース品搬出後、解体、跡地はデイサービスセンターの外来専用駐車場や、地域における公益的な取組の一環として、地域の障害者、高齢者と住民の交流を目的としたイベントの場として活用いたしたく、構想を練り計画しています。

また、花の王善興園開設に合わせ、全施設ユニフォームの見直し、退職金制度見直し（平成18年4月以降の入社職員に対し、確定拠出年金から掛金3倍の退職手当共済制度へ加入）、平成29年4月1日施行の改正社会福祉法により役員賠償責任保険への加入など、新たな見直しを行いました。

このような状況の中、善興会法人本部では、平成28年度事業として以下の点を重点項目として掲げ、事業推進に努めて一定の成果を得るに至りましたので、ここにご報告いたします。

1. 当法人の適切な運営と経営基盤の安定を図るため、理事会・評議員会・評議員選任解任委員会審議を開催しました。

(1) 平成28年5月24日（火）

評議員会 14：00～ 理事会 16：00～

議決、報告事項

- ・平成27年度法人、施設の事業報告の承認について
- ・平成27年度法人、施設会計収支決算の承認について
- ・平成27年度 監事監査結果報告について
- ・花の王善興園進捗報告
- ・職場定着支援助成金

- ・外部監査導入について
- ・その他報告事項
 - ① 日本財団福祉車両助成事業について

(2) 平成28年10月5日(水)

評議員会14:00～ 理事会16:00～

議決、報告事項

- ・花の王善興園進捗報告
- ・花の王善興園 竣工式
- ・花の王善興園ベッド購入計画
- ・花の王善興園食器購入計画
- ・その他の報告事項
 - ① 平成28年度中間決算報告
 - ② 花の王善興園開設に係る申請手続き
 - ③ 第三善興園ナースコール改修工事

(3) 平成28年12月20日(火)

評議員会16:00～ 理事会17:00～

議決、報告事項

- ・花の王善興園引渡し後の状況について
- ・第一次補正予算
- ・社会福祉法人制度改革について
- ・その他報告事項
 - ① 社会貢献事業「みやざき安心セーフティネット事業」
 - ② 28年度一般指導監査について
 - ③ 就業規則及び規程の変更について

(4) 平成29年3月14日(火)

理事会14:00～

議決事項

- ・評議員選任 解任委員の選任

(5) 平成29年3月22日(水)

評議員選任解任委員会14:00～

議決事項

- ・評議員の選任について

(6) 平成29年3月24日(金)

評議員会 14:00～ 理事会 16:00～

議決、報告事項

- ・平成28年度 第二次補正予算について
- ・平成29年度 事業計画について
- ・平成29年度 収支予算書について
- ・就業規則変更
- ・一般指導監査報告
- ・その他報告事項 ① 評議員の選任について

2. 広報事業

機関紙及びインターネット等の情報伝達方法を活用し、社会福祉に関する理解と参加を促進する広報活動を行いました。

- ・社会福祉情報誌『年輪』の発行
- ・八幡東区社会福祉協議会だより(年2回)
- ・八幡西区老連だより(年2回)
- ・各施設機関紙の発行
- ・ホームページによる新着情報の発信

3. 監査

当法人定款、経理規程にしたがい、監査が行われました。

- ・福岡県社会福祉法人指導監査(H28/7/29)
- ・北九州市一般指導監査(③H28/11/2. ②12/9. 花の王 H29/1/30)
- ・善興会28年度監事監査(H29/5/17)
- ・税理士監査

(本部 H29/2/10. 花の王 3/2. ②4/2. ③4/27. 北郷 4/11)

4. 教育事業

研修会の実施・参加

- ・善興会男性職員比叡山合宿訓練(H28/7/4～7/5・7/20～7/21)
- ・西日本国際福祉機器展(H28/11/24～11/26)
- ・西日本シティ銀行との異業種交流会
- ・社会保険労務士研修会(毎月)

特別養護老人ホーム花の王善興園
特別養護老人ホーム 第二善興園
特別養護老人ホーム 第三善興園

1 共通事項

- ① 入所申込者数は、保護課への働きかけにより、生活保護者の申込みや相談を継続的に受入れてきました。また、特に花の王善興園では、稼働時期を前後して、大幅に増加することが出来ました。
- ② 地震・風水害・土砂災害に対応した防災計画策定により、防災訓練を実施いたしました。
- ③ 院内感染に対する研修実施や対応が十分とは言えず、今後の継続課題となりました。
- ④ 介護職員の腰痛症検診は、年1回の実施は継続出来ています。
また、産業医による三施設合同の腰痛対策教室を開催いたしました。
このことは、花の王善興園の個別浴槽リフト導入に対する助成金受給につながりました。
- ⑤ 平成27年12月から義務化された、ストレスチェック制度により、ストレスに関する自己検査を行い、集計・分析を行いました。

2 拠点区分毎（ショートステイ・デイサービス含む）

●花の王善興園

1) 取組結果報告

- ・新築移転に伴う準備として、職員への意識付け、動線及び業務の流れのシミュレーション、そして利用者の居室配置と処遇の見直し等の検討会を重ね、平成28年11月4日（金）に、旧善興園からの移動を実施いたしました。

当日は、各施設から多数の応援もあり、予定通りの行程にて、無事故で移動を終わることができました。

利用者や家族の方々からは、「新しい建物はいいですね」などの喜びの声をたくさん頂きましたが、反面、施設の空間が広くなったため職員が分散傾向となり、利用者へのサービスが行き届かなかった場

面も見られました。

旧善興園の移動後、28年度内の第二善興園との統合をするため、施設間各部署の検討会、各部署合同の検討会を行い、平成29年3月27日（月）に第二善興園からの移動を実施しました。特養定員が154名、ショートステイが6名の160名となりました。

今後は、職員体制の充実を含め、利用者へのサービス向上を図ります。

- ・施設内の感染については、花の王善興園への移動後は、全居室に加湿付空気清浄機が設置されており、利用者のインフルエンザ感染はありませんでした。
- ・デイサービスでは、日中活動行事としてプログラムの外的に出る機会を取り入れていますが、施設利用時の満足度も上がってきたと考えています。

理学療法士による週1回のリハビリはとても好評であり、今後も利用者増加につながると考えます。

今後も、楽しんで利用できるようなサービスの継続実施を図ります。

2) 建物、備品及び環境等の管理整備

- ・備品購入等、別紙あり

●第二善興園

1) 取組結果報告

- ・5月に、嘱託医2名のうち1名の変更を行いました。理由としては、施設から遠距離に位置していたため、実務的な負担がありました。変更後の嘱託医については、施設から近距離であるとともに、休日・夜間での往診も可能となり、利用者の急変時にも迅速に対応でき、利用者や家族、そして職員にも安心できる体制が確保できました。
- ・ショートステイでは、認知症で屋外への徘徊行為がある近隣在住の男性利用者や、若松区統括支援センター経由での相談事例で、同居家族からの虐待が疑われる女性利用者を受け入れました。虐待が疑われる事例では、行政・警察との協議の結果、虐待の可能性は低いとの判断により、再び自宅での生活となりましたが、迅速に対応したことで行政機関等との関係性も維持できました。

しかし、その後の定期的な利用や新規利用者の獲得には至らず、利用者拡大にはつながりませんでした。

- ・デイサービスでは、季節感を感じていただく行事をはじめ、ご利用者の意向及び趣味を考慮したアクティビティの取り組みを積極的に行いました。具体的には、ドライブ・買い物・外食等の外出レクリエーションや料理教室・おやつ作り、創作活動、そして毎年9月に開催される「年長者作品展」への出展に向けた個別作品の制作等の、積極的な取り組みを行いました。

しかし、喫緊の課題として、慢性的な利用率の低迷があげられます。

要因として、同事業所の近隣密集や職員不足により、単一なサービス提供が新規利用者の獲得に至らなかった一因と考えられ、今後の運営改善が求められている現状です。

2) 建物、備品及び環境等の管理整備

- ・備品購入等、別紙あり

●第三善興園

1) 取組結果報告

- ・退所者が昨年度に比べ 12 名少なかったことは、占床率のアップにつながったと思われませんが、一方で、医療機関への入院日数が一定程度あるため、伸び悩みも見られます。

7月に、家族からの虐待による措置入所を受け入れました。

成年後見人も選任され、落ち着いた生活を送られています。

口腔衛生については、訪問歯科との連携しケアの維持を図っています。

皮膚疾患については、感染力の強い疥癬罹患者が1名で出たため、感染拡大予防的な服薬や隔離等の措置をとりました。他のインフルエンザやノロウイルス等の感染はありませんでした。

- ・ショートステイについて、看護師を専任することにより、投薬の確認や体調不良への適切な対応、受け入れ面接時の医療面での対応確認など、充実することができました。

特養ホームで疥癬罹患者がでたため、念のため一時利用を控える方

がいらっしゃいましたが、1日平均2名弱の利用者増となりました。

2) 建物、備品及び環境等の管理整備

- ・ 備品購入等、別紙あり

善興会ケアプランセンターゴクラク

1、 総括

高齢化率が約 28%とされる北九州市において、住み慣れた地域で継続して生活ができる様に、多様な支援体制が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築推進が、依然と課題となっております。

その中で、地域の医療・介護の連携を推進するための、在宅医療のコーディネート拠点である「在宅医療・介護連携支援センター」が、各区医師会で設置され、医療連携の充実が、より適切なケアマネジメントを提供する為のツールとして、期待されるものになっており、在宅医療の普及と充実の拡大にて、地域課題への取り組みがなされている状況であります。

その一方、高齢者のみの一人暮らしや、生活困窮など複合的な生活課題を抱えている方々も多く潜在されており、生命保護の観点から、緊急的な対応を要するケースもあり、多職種連携による対応が必須なものとなっております。

今年度は、多職種連携をベースとした、ケアチームによる対応を重点的に取り組みましたが、円滑に支援できたケースもあれば、いかなかったケースもあり、反省する点は多々ありました。

今後も、ケアマネジメントを提供する者として、各担当者が継続的に自己研鑽していかねばならないと考えております。

2、 取り組み結果報告

①スキルアップへの取り組みについては、事業所内外の研修及び福岡県介護支援専門員実務研修実習受け入れを実施致しました。

平成 28 年 7 月末に、介護支援専門員 2 名の退職に伴い、8 月より新体制となりました。

入職者 2 名が、居宅介護支援のケアマネジメントが未経験者であった為、一からのスタートとなりましたが、現在業務経験や研修を通じ、事業所全体のレベルアップに努めております。

②介護予防・日常生活支援総合事業への取り組みについては、要支援 1・2の方が利用している介護サービスのうち、訪問介護と通所介護は全国一律のサービスから、北九州市が実施する介護予防・生活支援

サービス事業への移行に伴い、対象利用者への介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務を実施し、円滑な移行に取り組んでおります。

【平成 28 年度研修報告】

開催日	研修名	主催	内容	参加者数
6/16	八幡西区ケアマネジメント研修会	八幡西区統括支援センター	利用者の可能性をみつけよう（リハビリ専門職の視点）	1名
6/18	日本ケアマネジメント学会	日本ケアマネジメント学会	教育公園・基調講演・シンポジウム	1名
6/19	日本ケアマネジメント学会	日本ケアマネジメント学会	一般口演 等、	1名
6/29	八幡東区ケアマネジメント研修会	八幡東区統括支援センター	医療機関の動向と介護（診療報酬改定から見えてくること）	1名
7/21	地域包括支援センター八幡西2居宅介護支援事業所連絡会	地域包括支援センター八幡西2	虐待について	1名
8/22	多職種連携研修会	八幡医師会	認知症について	1名
8/23	八幡西区ケアマネジメント研修会	八幡西区統括支援センター	心房細動について 総合事業について	3名
9/5	多職種連携研修会	八幡医師会	認知症について	1名
9/16	八幡西区ケアマネジメント研修会	八幡西区統括支援センター	糖尿病について 事例検討会	1名
11/17	多職種連携研修会	八幡医師会	認知症について	1名
11/17	地域包括支援センター八幡西2居宅介護支援事業所連絡会	地域包括支援センター八幡西2	虐待について 事例検討会	1名
1/13	八幡西区ケアマネジメント	八幡西区統	腎臓病について	3名

	ント研修会	括支援センター	アセスメントについて	
1/24	地域包括支援センター八幡西2 居宅介護支援事業所連絡会	地域包括支援センター八幡西2	精神疾患を有する養護者への対応の仕方	1名
2/10	中間市居宅介護支援事業所連絡会	中間市役所	自立支援型ケアマネジメントについて	1名

障害者支援施設 北郷荘

社会福祉法の改正に併せて、社会福祉法人による社会貢献事業（生活困窮者等に対する相談支援事業）が、全国的（各都道府県）に展開されようとする最近であります。既に事業創設されたところ、現在取り組中と着々と検討・準備が推められています。

この件に関しまして、法人（北郷荘）も本年度より準備をしており、平成29年度中途より、地域社会のための貢献事業に参画し、積極的に取り組むと共に、専らその職務を果してまいります。

そのためには、今後の経営戦略の一貫として捕え、その方策として、必要かつ研修会の参加、施設における検討会・勉強会を積極的に実施し、一人ひとりの知識・技術の修得のもと、自己意識の向上と構築に努めてまいりました。それに若手職員に力を注ぎ、人材育成に確固たる社会人としての、接遇・マナーにて意識改革を高めるための研修を実施し、併せて処遇の質も図ってまいりました。

また、利用者の高齢化・重度化のもとで個々のニーズに則した外出支援・日中活動（レクレーション）、車椅子ダンスや絵画・書道教室・音楽療法を継続的に取り組んでまいりました。

一方、リハビリテーションは、新しい機器の導入と理学療法士の二人体制にて、より一層充実した内容となり、離床できない利用者も居室での訓練を幅広く受け、機能回復全体が低下防止に繋がって成果を上げてきました。

毎年度、衛生管理面は周知徹底を図っていますが、ウィルス性感染症（インフルエンザ）に1名ほど罹患しましたが、幸いにも軽症で済んだところです。

なお、本年度末日を以って地域活動支援センターが、29年度より日中一時支援事業となりました。

また、定員不足期間がしばらくの間続いてきましたが、平成28年度末に於いては、定員（80名）まであと一人の状況になってきました。次年度早々には充足をなし、安定的経営の執行状況を果たしてまいります。

- ① 外部各種研修会、毎月施設内勉強会の開催を行ない、処遇の向上を図り、虐待防止策として毎月スローガンのテーマをかかげ、毎日唱和をおこなってきました。
- ② 権利擁護・第三者委員会では、利用者や家族などの意見を真摯に受け入れ、よりよいサービス支援と資質の向上に努めました。
- ③ 笑顔あふれる雰囲気のもとで、日中活動（レクリエーション）及び各種教室の支援に力を注ぎました。
- ④ メドマー（浮腫対応器）を機能訓練に導入し、リハビリテーションの充実を図りました。【別紙参照】
- ⑤ 前年度、悲惨な事件がありましたので防犯非常通報装置を国庫補助を受け設置しました。また防衛備品（刺股）も購入しました。そのための指導として日南警察署より講習会を行なって頂きました。【別紙参照】
- ⑥ 防災意識の高揚のため消火器・消火栓訓練を行ないました。またAEDを設置していますので、日南消防署より指導を受けました。
- ⑦ ボランティア・実習生を受け入れる環境と体制づくり、また地域との関わりある連携に取り組みました。
- ⑧ 施設内感染症については、インフルエンザ及び食中毒予防のための見直しや衛生安全面への周知徹底を図りました。
- ⑨ 老朽化した備品を入替えしました。【別紙参照】

ケアホーム・グループホーム 杉の湯荘

杉の湯荘も北郷荘と同様、よりよい環境のもとで更なる資質の向上を目指し、外部研修会・毎月度の勉強会において、積極的に参加し、日々研鑽を重ね、知識や向上を図り、また、職員・世話人との情報の共有化にて、明るく住みやすい雰囲気づくりを行ない、暖かくて家庭的のもとで、喜ばれる質のあるサービスを提供しました。

- ① 身体機能維持のためのリハビリテーションに積極的に参加しました。
- ② 衛生面・清潔保持に努めました。
- ③ 就労支援へ積極的に参加しました。(6名)
- ④ 故障した空調設備を、2箇所修繕工事を行ないました。
- ⑤ 老朽化した備品を入替えました。【別紙参照】
- ⑥ 北郷荘同様、防犯非常通報装置を設置しました。【別紙参照】

相談サポートセンター 北郷の里

相談員の退職者に伴い、相談支援専門員を10月1日付けにて、新たに配置替えを行いました。そのため専門的作成の知識を早々に得るために、研修会及び各事業所との連携を密に図りました。

サービス等利用計画は、施設職員と協議のうえ立案し、迅速・且つ内容の充実を図りました。

- ① 本年度の利用サービス計画者は97名です。
- ② 相談・立案の内容を利用者のニーズに則ったものを提供してまいりました。
- ③ 県内の事業所（概ね100箇所）も増加してまいりましたので、日々の研修会での研鑽と連携を図りました。
- ④ 行政及び各社会福祉協議機会との、情報の共有化と連携を図りました。